

国際先導研究 審査結果の所見

課 題 番 号	22K21355
研 究 課 題 名	国際的なバイオリギング研究の先導による人為起源海洋環境ストレス ーの影響解明
研 究 代 表 者	渡辺 佑基
研 究 期 間	令和4(2022)年度～令和10(2028)年度
科学 研究 費 委 員 会 国際科学研究費第二部会 における所見	<p><b>【研究の概要】</b>          本研究課題は、対象とする海産動物について課題となっている環境ストレスを特定し、バイオリギングにより集中的に追跡・検討することで、当該動物の各ストレスに対する応答や生態を解明するものである。また、本研究ではバイオリギングにおいて特に重要となる小型環境計測機器の開発も手掛ける。これらを通じて、広範囲にわたる動物の行動を時間的に高い解像度で把握し、動画など時間的変化の大きい複雑な動物行動の解析において日本が世界に対する優位性を更に高める。</p> <p><b>【学術的意義、期待される成果】</b>          従来、バイオリギングの分野では日本が世界を先導してきており、その中でも中心的な役割を果たしてきたのが研究代表者らのグループである。本研究により、対象とする海産動物の生態に対する各ストレスの影響が更に深く解明されるであろう。このことは、本研究で検討された生物種の地球規模での保全に大いに貢献すると期待される。また、本研究で開発される小型環境計測機器は、世界のバイオリギング研究への貢献に留まらない他分野への応用も期待できる。今後、海洋における各種の環境要因の変動についてのビッグデータが整備されるに伴い、本研究を端緒として国際的なバイオリギング研究の新しい潮流が創造されることが期待される。</p>